

地域住民と共に創るサ高住 社会福祉法人嘉祥会「清住の杜町田」

「地域に根差した介護施設にとつて、最も望ましいことは、地元住民が自然と施設に集って来てくれることだろう。」

民と、施設入居者との鑑(かすがい)となり、「地域の交流拠点」として日々、多世代が交流する。この2年間、どのように地元との親交を深めたのか——同法人の彌晴美業務執行理事(以下「彌理事」)、介護ステーション統括の彌一勲「かずひろ」氏(以下「彌統括」)、サ高住管理者の久保田亜紀子氏の3名に聞いた。



入居者と談笑する管理者の久保田さん



自然光を多く取り入れた1階の玄関サロン

中心に事業を手がけてきたが、2年前にサービス付き高齢者向け住宅「清住の杜(きよすみのもり)町田」を開設した。その一角には、「地域密着」を実践するため別棟に、集会所くらいの広さの「地域交流室」を設けた。

そして現在、この地域交流室が地元自治会や住

中心となって自主的に開催されている。【彌統括】開設当初は、私たち職員が入居者に対して「何か」を提供しなければならぬと感じて

いたが、現実には入居者同士や、ご入居者と近隣の方々との「お付き合い」から、全ての関係がスタートしている。例えば、当住宅の近所

にある理容室やお米屋さんにご入居者自身が赴き、髪をセットしてもらったり日用品を購入したりする中で交流が始まった。今では自主的に、理容室

【彌理事】このサ高住自体が自治会の会員になっていて、自治会にも気軽に地域交流室を使ったり、お米屋さんや文した商品をわざわざ配達してくれたりする。こんな日常的な交流を認識して頂いている。

【彌統括】当法人は現在、

積み重ねつつ、自治会等の地域組織との関係も深めた。今では、住民の方々がこのサ高住を創って下さっていると考えている。

【彌理事】幼稚園や小学生など、地域の子供たちも当住宅をよく訪れてくれる。

【彌統括】「サ高住」は、近所の幼稚園児たちが喜んで当施設に来てくれる。また大災害が起きた時など、小学生の子供たちの安全を確保するため、地域交流

【彌統括】「サ高住」は、近所の幼稚園児たちが喜んで当施設に来てくれる。また大災害が起きた時など、小学生の子供たちの安全を確保するため、地域交流

【彌統括】「サ高住」は、近所の幼稚園児たちが喜んで当施設に来てくれる。また大災害が起きた時など、小学生の子供たちの安全を確保するため、地域交流

【彌統括】「サ高住」は、近所の幼稚園児たちが喜んで当施設に来てくれる。また大災害が起きた時など、小学生の子供たちの安全を確保するため、地域交流

【彌統括】「サ高住」は、近所の幼稚園児たちが喜んで当施設に来てくれる。また大災害が起きた時など、小学生の子供たちの安全を確保するため、地域交流

【彌統括】「サ高住」は、近所の幼稚園児たちが喜んで当施設に来てくれる。また大災害が起きた時など、小学生の子供たちの安全を確保するため、地域交流